

# 平成27年度 南魚沼郡市家庭科部 活動報告

部長 笛木 隆

## 1 研究主題

「家庭科のよりよい授業を目指し、実習を伴う研修により、視野を広げ指導力向上を図る」

## 2 研究の概要

- (1) 部 会 5月 1日 (金) 研究組織、研究主題の決定及び事業計画立案
- (2) 推進委員会 6月26日 (金) 研修会の詳細の検討、準備
- (2) 研 修 会 8月20日 (木) 地域の伝統工芸「塩沢織り」体験 (会場：塩沢つむぎ記念館)
  - ・織工房での実演説明
  - ・資料室「温故知新」の見学
  - ・機織り体験

## 3 研究の実際

今年度は衣生活や住生活、消費生活といった内容に目を向けた研修を企画した。

織工房での実演説明では、塩沢つむぎ記念館の南雲館長より、塩沢織の特徴と技術が育まれた環境や歴史について指導を受けた。実際に、苧麻草から繊維を取り出したり、繭玉から糸を紡いだりする様子を見ることができた。

研修を通して「衣服の成り立ちについて考えることができた」「子どもにも実物を見せたい」といった感想が聞かれた。地域の伝統工芸の素晴らしさを再確認するとともに、これからの授業で子どもに伝えていきたいという意欲につながった。

また、ほとんどの参加者が初めて機織り体験を行った。「伝統的な手作り技法に戸惑いながらも、物作りの楽しさを味わった」「貴重な体験ができた」という感想が聞かれ、有意義な研修となった。縦糸と横糸を交互に交差させ、平面の布状にしていく作業を通して、私たちが普段身に付けている衣服をより身近に感じることができた。



## 4 成果と課題

○衣生活に関わる内容だけでなく、地域の歴史や伝統について理解を深めることができた研修会となり、好評であった。今回、食以外の研修に取り組んでみたが、視野を広げていくことで指導力向上につながった。

●「塩沢つむぎ記念館」で学んだ内容は、実際の学習にどのように生かすことができるのか、意見交換する時間が設定できるとよかった。